

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	技術英語
科目基礎情報						
科目番号	0008		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械・電気システム工学専攻（機械工学コース）		対象学年	専2		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	適宜プリントを配布					
担当教員	田中 大					
到達目標						
・ 英語によるパワーポイント資料の作成ができる ・ 英語で作成したパワーポイントを用いて英語による発表ができる ・ 英語の長文が理解できる						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	英語によるパワーポイント資料の作成ができる。		英語によるパワーポイント資料の作成がある程度できる。		英語によるパワーポイント資料の作成ができない。	
評価項目2	英語で作成したパワーポイントを用いて英語による発表ができる。		英語で作成したパワーポイントを用いて英語による発表がある程度できる。		英語で作成したパワーポイントを用いて英語による発表ができない。	
評価項目3	英語の長文が理解できる。		英語の長文がある程度理解できる。		英語の長文が理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
JABEE G-2						
教育方法等						
概要	自身の研究内容に関して、英語によるプレゼンテーションを行うことを目的に、パワーポイントによる資料作成および英語によるプレゼンテーションを行う。 さらに、英語の長文読解を行う。					
授業の進め方・方法	各自の予習・復習が不可欠です。 本科目は学修単位科目であるので、授業時間以外での学修が必要であり、これを課題として課す。					
注意点	試験（50%）、プレゼンテーション、質疑応答（50%）を原則とする。 再試験は実施しない。 評価基準：60点以上を合格とする。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス			
		2週	長文読解1			
		3週	長文読解2			
		4週	長文読解3			
		5週	長文読解4			
		6週	長文読解5			
		7週	長文読解6			
		8週	プレゼンテーション資料作成1			
	2ndQ	9週	プレゼンテーション資料作成2			
		10週	英語によるプレゼンテーション1			
		11週	英語によるプレゼンテーション2			
		12週	英語によるプレゼンテーション3			
		13週	英語によるプレゼンテーション4			
		14週	英語によるプレゼンテーション5			
		15週	英語によるプレゼンテーション6			
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前10,前11,前12,前13,前14,前15
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前10,前11,前12,前13,前14,前15
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前10,前11,前12,前13,前14,前15
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前10,前11,前12,前13,前14,前15

				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前10,前11,前12,前13,前14,前15
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前10,前11,前12,前13,前14,前15
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	前8,前9

評価割合							
	試験	資料・発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100
基礎的能力	30	30	0	0	0	0	60
専門的能力	20	20	0	0	0	0	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0